



要望書作成用データの手引 《持続性向上対策用》

【注意】

「持続性・社会的価値向上対策（持続性向上対策）」の要望書は持続性向上対策専用です。本手引き及び関係資料をよく読んで間違いの無いように注意して下さい。

1 令和7年度の一般枠との主な相違点（令和7年度に一般枠に要望した協議会の方へ）

(1) 生乳需給安定クロスコンプライアンスの確認欄の追加

- ・STEP4に「生乳需給安定クロスコンプライアンスチェックシート」欄が追加されました。具体的な入力ルール等は【別表1】令和8年度 機械導入事業 要望書作成用データ〔入力内容の注意事項等〕の「生乳需給安定クロスコンプライアンスチェックシート」欄の説明を参照してください

(2) 「畜産、酪農関係機械に関する動力源」及びトラクターを要望する場合

- ・「畜産、酪農関係機械に関する動力源」区分の機械装置及びトラクターを要望される場合、指定の欄に用途と装着するアタッチメント等を入力してください。具体的な入力内容は【別表1】令和8年度 機械導入事業 要望書作成用データ〔入力内容の注意事項等〕のSTEP3「動力源・トラクターの場合欄」の説明を参照してください

(3) 現状値、目標値について

- ・現状値、目標値について「年度（4月～3月）」の他、「年次（1月～12月）※」をもとにした設定も可能となりました。年次の数字で要望される場合については、【別表1】令和8年度 機械導入事業 要望書作成用データ〔入力内容の注意事項等〕のSTEP2「年次/年度欄」で選択し、STEP4の「備考欄」の説明を参照してください。※1月～12月のみならず、取組主体の決算年次（例：6月～5月、3月～2月など）でも可

2 要望書の作成にあたって

要望書を作成する際は、関連資料等をお手元に作業してください。

3 入力方法

- 使用するデータは「【持続性用】R8-1 要望書作成用データ-0.xlsm」というエクセル形式のファイルです。
※「収益性向上対策」「飼料増産優先枠」「省エネ優先枠」はこのデータではありません。これらは畜産協会等へお問い合わせ下さい。
- エクセルデータを開くと、「本ファイルにはマクロが設定されています。作業時に以下の2点にご留意の上、必ずマクロを有効にして使用願います。」という注意書きのページが表示されますので、お読み下さい。
- 要望書は入力内容に沿ってSTEP1～STEP4で構成されています

STEP1	所属組織、取組主体等、飼養区分等の基本情報
STEP2	当該機械装置を導入する必要性、成果目標に関する情報
STEP3	要望する機械装置に関する情報
STEP4	その他の情報

- 「入力時の注意点」欄が「選択肢から選択」となっている項目はプルダウンメニューから選択し、その他の項目は該当する情報を入力して下さい。また、「自動で表示されます」と記載されている項目は、他の項目の選択内容によって自動的に表示されます
- 「入力内容チェック」ボタンを押すと、選択・入力した内容のチェックが行われ、ルールに沿っていないセルは赤く表示されます。「入力内容チェック」ボタンは入力作業時の横スクロールを考慮して様式上部3カ所にあります、どのボタンも機能は同じです
- 初期状態では優先順位が80位まで入力欄が用意されています。不足する場合は「要望記載欄を10行追加」ボタンを押すと自動的に10行追加されます（優先順位の数字も自動的に振られます）
- 次の入力はエラーになりますので、注意して下さい

全項目	①セル内での任意の改行を入力した場合 ②半角のカンマ「,」を入力した場合
備考欄	①規程の文字数を超える入力（全角・半角関係は同カウントです） ②立方メートル、リットル、ヘクタール等の特殊文字（m ³ 、ℓ、ha）

4 提出用データの出力方法

- ・要望データを全て入力したら、『入力内容チェック』ボタンを押してエラー項目がないか確認してください。エラー項目がある状態では提出用データの出力はできません
- ・エラー項目がない状態で様式上段の右端にある『提出用データ出力』ボタンを押すと、提出する CSV ファイルが出力できます
- ・出力される CSV ファイルのファイル名は自動的に「参加要望データ_▲●●県_■●●協議会.csv」となります
(▲は県コード。■は協議会コード、機械導入事業に令和8年度に初めて要望する協議会の場合は、協議会コードは xx となります)

【注意】

出力した CSV ファイルを直接開いたり、ファイル名を変更すると要望を提出できなくなりますのでご注意ください。

5 各項目の入力内容、注意事項等

要望書各項目の入力内容、注意事項等は【別表 1】「令和 8 年度 機械導入事業 要望書作成用データ〔入力内容の注意事項等〕」、別表 2「既存の機械装置有無確認欄の選択肢等」を参照して下さい。

【別表1】令和8年度 機械導入事業 要望書作成用データ〔入力内容の注意事項等〕

《持続性・社会的価値向上対策》

※協議会名の入力（選択）について

- ・令和7年度までの機械導入事業に要望を提出したことがある協議会については、選択肢として登録されていますので「県名」→「協議会名」で選択して下さい
- ・今回初めて要望を提出する協議会にあっては、「県名」→「【新規協議会】」を選択し、その下の「協議会名（新設の場合）」欄に協議会名を入力して下さい

	項目名	入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
STEP1	所属(団体等名)	選択肢		—	所属組合等が無い場合は選択する
		or入力			組合等に所属している場合は、 <u>正式な組織名を入力</u> する 【例】●●農業協同組合、●●県飼料荷受組合
	中心的経営体確認	選択肢	○か△に該当しない場合は要望できません	○	知事が認定した畜産クラスター計画で中心的な経営体に位置づけられている場合
				△	中心的な経営体に位置づけられている畜産クラスター計画を県へ申請中の場合
	取組主体等名	入力	・氏名、法人名は正確に入力する (旧字、新字、異字の誤用に注意) ・旧字、新字、異字の誤用に注意		・直貸の場合は取組主体名を入力 ・転貸の場合は貸付主体名を入力
	貸付主体から借受を行う場合の取組主体 氏名	入力	・氏名、法人名は正確に入力する (旧字、新字、異字の誤用に注意)		転貸の場合のみ取組主体名を入力
	取組主体要件	選択肢	・「導入の必要性」で「新規就農者」を選択する場合は「新規」を選択する	認定	認定農業者
				新規	新規就農者
				集団	認定農業者・新規就農者に該当する2者以上で構成する集団
				団体等	その他の場合
1				飼料生産受託組織等（面積拡大）	
2				飼料生産受託組織等（収穫量増加）	
3				飼料生産受託組織等（飼料自給率増加）	
1+2				飼料生産受託組織等で複数の要件がある場合は、該当する組み合わせを選択	
1+3					
2+3					
1+2+3					
クラスター計画のテーマ番号(成果目標)	選択肢	1-1)国産飼料の生産・利用			
		1-2)温室効果ガス排出削減			
		1-3)資源循環型農業の促進			
		2-1)雇用創出			
		2-2)ブランド化・付加価値向上			
		2-3)消費者の理解醸成			
		2-4)新規就農・経営継承			
		2-5)家畜輸送の社会的課題への対応			
		3-1)動物福祉の実践			
		3-2)家畜疾病対策の強化・高度化			
		3-3)野生鳥獣害防止対策			
		3-4)多様性の確保			

	項目名	入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
	飼養区分	選択肢	<p>複数の家畜飼養区分にまたがって利用する場合には当該機械装置を主に利用する畜種等を選択すること。</p> <p>例①：肉用牛一貫経営で哺乳ロボットを要望する場合は「肉用牛（繁殖）」を選択する。</p> <p>例②：畜産農家が自らの畜産経営のためではなく、飼料生産受託作業（業務）を行うために機械装置を要望する場合は「飼料受託等」を選択すること。</p>	酪農 肉用牛（肥育） 肉用牛（一貫） 肉用牛（繁殖） 養豚 採卵鶏 ブロイラー その他家畜(やぎ) その他家畜(めん羊) その他家畜(馬) その他家畜(合鴨) その他家畜(うずら) 飼料受託等	・取組主体要件等を満たしているか確認のこと

STEP2

項目名		入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
導入の必要性	[1]	選択肢	※成果目標の前提となる導入の必要性は『導入の必要性[1]の欄』で選択する	選択肢は「令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《持続性・社会的価値向上対策》」を参照してください	
	[2]				
	[3]				
成果目標の種類		選択肢		選択肢は「令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧」を参照してください	
算定根拠		選択肢		選択肢は「令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧」を参照してください	
年次/年度		選択肢	成果目標をどちらの期間で設定するか 選択する	年次	現状値、目標値が年次の数値の場合。具体的な期間については、「備考」欄に入力してください
				年度	現状値、目標値が4月～3月の数値の場合
現状値	① 単位	入力		入力する情報等は「令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《持続性・社会的価値向上対策》」を参照してください	
	② 単位	入力			
	③ 単位	入力			
	現状値 単位				
目標値	① 単位	入力		入力する情報等は「令和8年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《持続性・社会的価値向上対策》」を参照してください	
	② 単位	入力			
	③ 単位	入力			
	目標値 単位				
増加(削減)率①(%)			自動で算出されます【小数第3位切り捨て】	※増加(減少)率が求められない導入の必要性では、増減率は算出されずに「-」が表示されます	
増加(削減)率②(%)			自動で算出されます【小数第3位切り捨て】	※導入の必要性が「3-1① 動物福祉の実績」の場合のみ算出されます	
目標年		選択肢	当該機械装置の法定耐用年数以下 であること	R09(2027) R10(2028) R11(2029) R12(2030) R13(2031)	目標値を何年に設定するかを選択する ※カッコ内は西暦です
成果目標の算出方法	算出方法	入力	空欄不可		目標値の算出方法を具体的に入力する

STEP3

項目名		入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
機械装置の区分		選択肢			選択肢は「令和8年度 対象機械装置一覧（令和8年2月6日現在：未定稿）《持続性・社会的価値向上対策》」を参照してください
機械装置名		選択肢			選択肢は「令和8年度 対象機械装置一覧（令和8年2月6日現在：未定稿）《持続性・社会的価値向上対策》」を参照してください
数量		入力	【整数のみ入力可】		
動力源・トラクターの場合	用途・アタッチメント(作業機)	入力	用途・アタッチメント（作業機）を具体的に記入		<p>「畜産、酪農関係機械に関する動力源」及びトラクターを要望する際は、畜産の範囲のみの使用であることを協議会で確認の上、以下のルールに沿って指定の情報を入力してください</p> <p>《入力ルール》</p> <p>①用途(簡潔に)</p> <p>②使用するアタッチメント名</p> <p>③クイックカブラの要望の有無及び要望有の場合は、クイックカブラの必要性</p> <p>④ホイールローダー（バケット付き）を選ぶ場合は、バケットの必要性を読点で区切って入力する</p> <p>-----</p> <p>(入力例)</p> <p>①堆肥の切返し、堆肥保管場所への移動、飼料畑でのロールの運搬、牛舎へのロール運搬、②バケット、バールグラブ、③バケット、バールグラブを付け替えて使用するのでクイックカブラが必要④堆肥切返し、保管場所への移動にバケットが必要。なお、これまで小型のホイールローダーを近隣の農家から借りて対応していたが、借りられなくなったため、既存機もない。</p>
	使用範囲の誓約	選択肢	当該取組主体に確認し選択する ※トラクターのみ	〔選択しない〕 畜産の範囲のみの使用であることを協議会で確認済	トラクターを要望する場合、「畜産の範囲のみの使用であることを協議会で確認済」を選択しないと要望できません
規模・数量の妥当性		選択肢	○でないと要望できません	〔選択しない〕 ○	規模・数量が妥当であるか協議会が確認し、妥当であると判断した場合は○を選択。妥当であると判断した根拠資料を協議会で整備し、いつでも説明できるように協議会で保管して下さい
既存の機械装置の有無確認		選択肢	間違いが多い項目なので要確認		<p>・協議会は既存の機械装置の有無を必ず確認し、該当する選択肢を選択すること</p> <p>・具体的な選択肢等は別表2を参照</p> <p>・既存機械の「更新」は補助対象となりません。「更新ではない」ことの根拠資料を協議会で整備し、いつでも説明できるように協議会で保管して下さい</p>
既存の機械装置に関する確認事項		入力			「既存の機械装置の有無確認」の選択肢に応じて確認事項が表示されます（最大3項目：イ、ロ、ハ）ので、各確認事項に応じた回答を入力して下さい。

	項目名	入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
	動力源の有無	選択肢		1:「動力源」は一体的に要望している 2:「動力源」は自己資金で導入した機械装置を使用する 3:「動力源」は過年度の機械導入事業で導入した機械装置を使用する	動力源（トラクター、ホイールローダー、スキッドステアローダー、シャベルローダー、フォークリフト）に取り付けて使用する機械装置の要望は動力源について選択してください
	機械価格 A	入力	【整数のみ入力可】		要望する機械装置の金額を入力（ 最低1者から見積書を取得すること ） ※機械価格には輸送費、設置工事費、消耗品等の補助対象外の経費が含まれていないか確認してください
	消費税 B	入力	【整数のみ入力可】		参考で徴した見積書記載通りの消費税額を入力する
	計(A+B)		自動で表示されます【少数以下切り捨て】		
	補助金額(A×1/2以内)		自動で表示されます【小数以下切り捨て】		
	一体的な要望の有無	選択肢		無し x位と一体	機械装置と各種アタッチメント等を一体的に導入したい場合は「x位と一体」を選択してください（ 優先順位は連番 でなければいけません→要望の手引き参照のこと）

STEP4

項目名		入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
飼養頭羽数		入力	【整数のみ入力可】		現在の総頭羽数を記入。飼養区分が「飼料受託等」の場合は記入不要
うち搾乳牛、繁殖雌牛、母豚		入力	【整数のみ入力可】		酪農「搾乳牛頭数」、肉用牛「繁殖雌牛頭数」、養豚「母豚頭数」を内訳（内数）として記入し、その他の家畜又は該当がない場合は記入不要。
成果目標の達成状況(収益性向上対策)	(H28)年度導入	選択肢	協議会がこれまでの取りまとめ記録等を確認して選択 ※項目の年度は「配分された年度」ではなく、「当該機械装置を導入した年度」です	-	・過去に機械導入事業を実施した際の成果目標の達成状況を選択 ・当該年度に機械装置を導入していない場合は「-」を選択 ・初回の成果報告で達成していると報告した場合は「○」を選択 ・2回目以降の報告（再報告）で達成していると報告した場合は「●」を選択 ・令和7年度の実績まで未達成の場合は「×」を選択 ※当該年度に複数の機械装置を導入した場合で、1つでも未達成の機械装置があった場合は、「×」を選択
	(H29)年度導入			○	
	(H30)年度導入			●	
	(R1)年度導入			×	
	(R2)年度導入				
	(R3)年度導入				
	(R4)年度導入				
	(R5)年度導入				
未達成の成果目標への影響		選択肢		〔選択しない〕 未達成の成果目標との整合性を整理し、要望機の導入のみで、未達成の成果目標を達成させることはないことを協議会で確認済	「機械導入事業のうち収益性向上対策」で未達成の機械装置がある取組主体の要望の場合、本要望内容が未達成の成果目標を達成させることはないことを協議会で確認した上で、選択してください。また、その根拠資料を協議会で整備し、いつでも説明できるように協議会で保管して下さい
施設整備との一体性	活用事業	選択肢	該当しない場合は「-」を選択	- 1 畜産クラスター事業 2 他の事業 3 自己資金	機械装置の導入に併せ、 当該年度内に畜舎等施設整備を行う場合 とし、該当するものを選択
	整備時期・内容	入力	右の①②の情報を入力すること		①「整備時期」は竣工時期（供用可能時期）を「R●年●月」の形式で入力（具体的な整備計画が前提であること）。令和8年度中に竣工する計画で無い場合は要望できません。 ②「整備内容」は何を（畜舎、堆肥舎等）どうする（新築、増改築等）のか具体的に入力すること。また、要望する機械装置との関連性がわかるように入力すること。
収益性向上対策の要望の有無	R8年度の要望	選択肢		○ ×	
	成果目標の整合性	選択肢		〔選択しない〕 収益性向上対策の成果目標との整合性について協議会で確認済 収益性向上対策の成果目標には影響しない成果目標であることを協議会で確認済	根拠資料を整備し、いつでも説明できるように協議会で保管して下さい
従業員数		入力	【整数のみ入力可】		正規雇用者数（ただし、経営主の親、子、兄弟姉妹及び配偶者を除く。）を記入。

	項目名	入力方法	注意事項	選択肢	入力内容・選択肢の説明等
	大規模法人への該当の有無【確認】	選択肢	取組主体が法人の場合、事業実施要領に定める大規模法人に該当しないか協議会が確認し選択 ※『大規模法人に該当する』場合は要望できません。	該当しない -	※株式会社（有限会社含む）又は持分会社（合同会社、合資会社、合同会社）以外の要望は「-」を選択して下さい 事業実施要領 別紙2 第3の2の（1）取組主体の対象者 工のただし書きに該当しないか確認してください
	直近3カ年の農業に係る売り上げ1/2以上占めるか【確認】	選択肢	取組主体が株式会社又は持分会社の場合は、必ず協議会が確認して選択 ※株式会社又は持分会社で直近3カ年の農業売り上げが1/2以上を占めない場合は要望できません。	農業売り上げが1/2以上を占める -	※株式会社（有限会社含む）又は持分会社（合同会社、合資会社、合同会社）以外の要望は「-」を選択して下さい ※株式会社又は持分会社については、事業実施年度前の直近3か年におけるその農業（畜産を含む）に係る売上高が、当該3か年における法人の事業全体の売上高の過半を占めていない場合、「農業（畜産を含む）を主たる事業として営むもの」に該当しないため要望することができません。そのため、協議会は当該取組主体（株式会社又は持分会社）の売り上げについて確認して、「農業売り上げが1/2以上を占める」ことを確認できたら選択して下さい。
	取組主体の所在地(市町村名)	入力			【入力ルール】 ●●市、●●郡●●町、●●郡●●村
	辞退履歴	入力			当該取組主体が令和7年度の機械導入事業で配分された機械装置を本要望時点で1件でも辞退している場合は、 ①予算控（一般枠or肉用牛・酪農重点化枠or飼料増産優先枠or省エネ優先枠） ②機械装置名 ③辞退理由（簡潔に） を入力してください。同一取組主体が複数の要望をしている場合は、全ての要望に同じ内容を入力すること
	生乳需給安定クロスコンプライアンスチェックシート	選択肢	取組主体から提出されたチェックシートは協議会で保管してください	〔選択しない〕 ●	生乳需給安定クロスコンプライアンスの対象となる取組主体の要望は、協議会で取組主体から提出されたチェックシートに必要な事項が全て記入されていることを確認し「●」を選択します
	備考	入力	250文字まで入力可能です		イ.現状値、目標値を年次の数値で要望する場合は、《年次（〇月～〇月）の数値で要望》と入力する ----- （入力例） 《年次（1月～12月）の数値で要望》 ----- ロ.あらかじめ中古品を要望することが確実な場合は、中古品要望の旨と、「残存期間（法定耐用年数－経過年数）」と「県において妥当性判断済※」を前後に《》を付けて入力する ----- （入力例） 《中古品要望、4年、県において妥当性判断済》 ※中古機械で1者見積の場合、事業参加申請までに都道府県の妥当性判断がなされていれば良いが、既に判断済の場合は判断済みと記載。

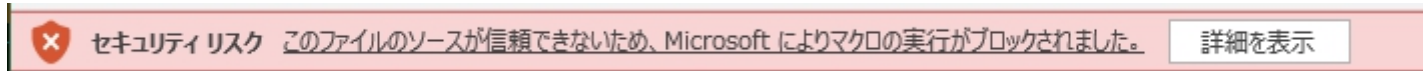
【別表2】既存の機械装置有無確認欄の選択肢等

※黄色のセル→回答の入力が必要です

既存の機械装置の有無確認※13	イ	イの回答	ロ	ロの回答	ハ	ハの回答
	自動で表示されます	手引きを参照して具体的に入力すること	自動で表示されます	手引きを参照して具体的に入力すること	自動で表示されます	手引きを参照して具体的に入力すること
選択肢	選択肢ごとに表示される質問（黄色のセル→回答の入力が必要）					
1:既存の機械装置がないことを協議会で確認した	これまで具体的にどのように作業していたのか		—	—	—	—
2:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである（既存の機械装置は破棄する）	具体的にどのような能力がどう向上するのか		能力が向上した機械装置に入れ替える理由		—	—
3:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力が向上したものである（既存の機械装置は併用する）	具体的にどのような能力がどう向上するのか		併用する理由及び要望機との作業区分け		併用となるが、作業する人員は確保できているのか	
4:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は増備（増設）するものである	増備（増設）する理由及び要望機との作業区分け		増備（増設）となるが、作業する人員は確保できているのか		—	—
5:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力（容量）が同等のものである。（既存の機械装置は破棄する。）	同等とする能力（容量）を記載		能力（容量）の同等のものが必要な理由		—	—
6:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力（容量）が低いものである。（既存の機械装置は破棄する。）	具体的にどのような能力（容量）がどう低下するのか		能力（容量）の低いものが必要な理由		—	—
7:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力（容量）が同等のものである。（既存の機械装置は併用する。）	同等とする能力（容量）を記載		併用する理由、要望機との作業区分け及び、能力（容量）の同等のものが必要な理由		併用となるが、作業する人員は確保できているのか	
8:既存の機械装置があるが、要望する機械装置は能力（容量）が低いものである。（既存の機械装置は併用する。）	具体的にどのような能力（容量）がどう低下するのか		併用する理由、要望機との作業区分け及び、能力（容量）の低いものが必要な理由		併用となるが、作業する人員は確保できているのか	

【補足 1】

お使いのパソコンの環境によっては、ファイルを開いた際に以下の警告が表示される場合があります。




この場合は、次の設定をしてから、ファイルを再度開いてください。

- ①ファイルのアイコン上で右クリック→プロパティを選択
- ②プロパティ画面の下段「セキュリティ」の「許可する」にチェックを入れる
- ③「OK」を押してプロパティ画面を閉じる

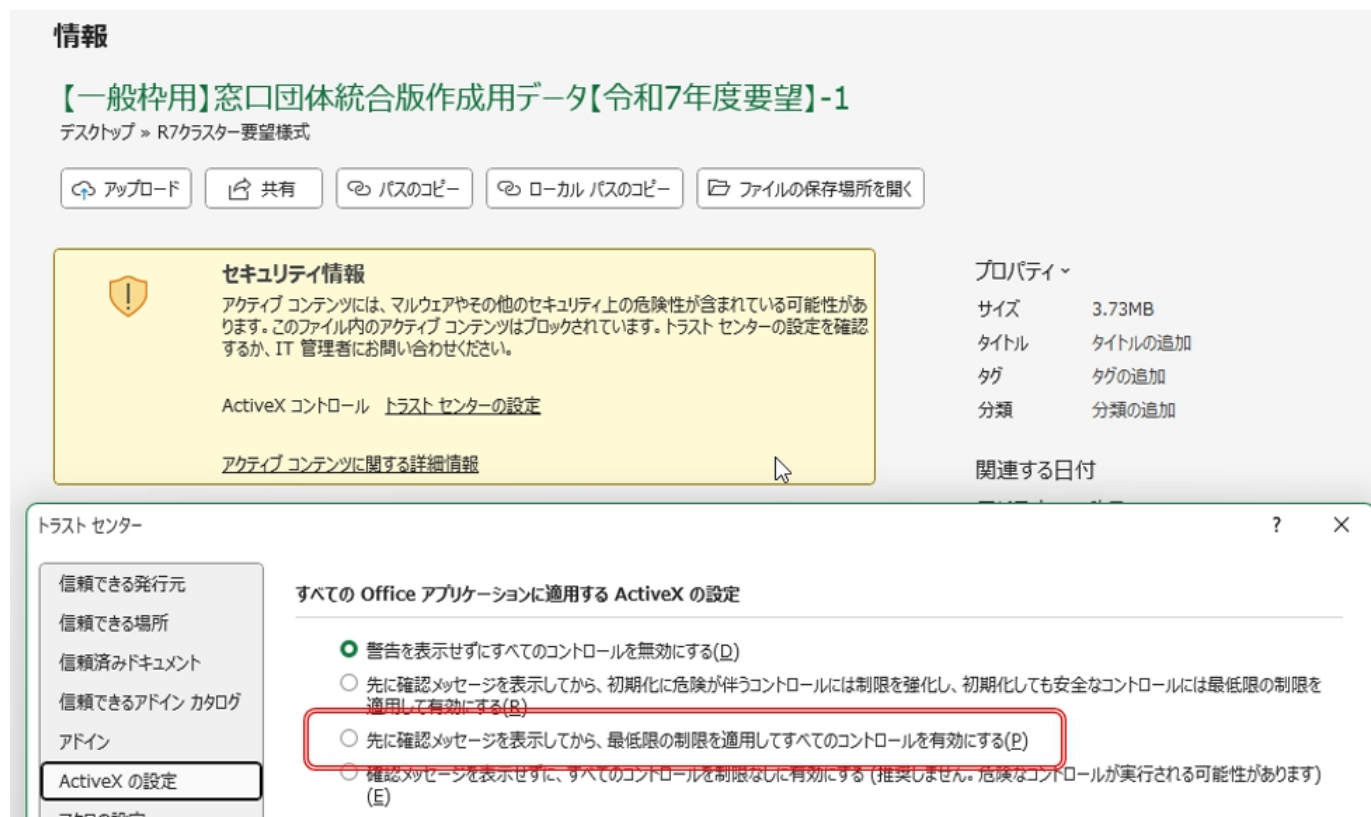


【補足 2】

お使いのパソコンの環境によっては、ファイルを開いた際に以下の警告が表示される場合があります。

 **ブロックされている内容** ActiveX コントロールの既定の設定が変更されました。トラストセンターに移動して、ActiveX の設定を確認してください。

この場合は「トラストセンター」に移動して、「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用して全てのコントロールを有効にする」を選択してください。



The image shows a Windows File Explorer window with a security warning and the Trust Center settings window open.

情報

【一般枠用】窓口団体統合版作成用データ【令和7年度要望】-1
デスクトップ > R7クラスター要望様式

アップロード 共有 パスのコピー ローカルパスのコピー ファイルの保存場所を開く

セキュリティ情報
アクティブ コンテンツには、マルウェアやその他のセキュリティ上の危険性が含まれている可能性があります。このファイル内のアクティブ コンテンツはブロックされています。トラストセンターの設定を確認するか、IT 管理者にお問い合わせください。

ActiveX コントロール トラストセンターの設定

[アクティブ コンテンツに関する詳細情報](#)

プロパティ

サイズ 3.73MB
タイトル タイトルの追加
タグ タグの追加
分類 分類の追加

関連する日付

トラストセンター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定

すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定

- 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
- 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
- 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
- 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります) (E)